

瑞穂版ネウボラ事業の取り組みを

質問者 小 川 龍 美

現在進行している少子化対策として、国は「まち・ひと・しごと創生基本方針」で、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の整備を打ち出した。合わせて、退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援を行う「産後ケア事業」の取り組みも求められる。まちは、瑞穂版ネウボラ事業にどう取り組むのか、町長の所見を伺う。